京城日報
七月三十一日（土）
夕刊



# 暴虐、保安隊叛亂
# 通州の消息不明
## 居留民の死傷多數の見込

【北平三十日同盟】通州城內は二十九日保安隊一部叛亂により我が居留民に相當死傷を出した模樣であるが未だ確報はない、また同地にありし各社從軍記者も昨日來殆んど消息を斷ち安否を氣遣はれてゐる

## 同盟特派員消息を絕つ

【北平卅一日同盟】通州保安隊反亂事變以來通州にあつて從軍、報道第一線に立つてゐた同盟通信社特派員安藤利男氏はその後全く消息を斷ち三十一日午前十一時に至るも連絡されずその安否は頗る憂慮されてゐる、北平通州間の通信連絡は目下全然杜絕しその他の邦人の安否も一切不明である、三十一日夕刻までには連絡つく見込みであるから本日中には消息が判明する筈である

## 保安隊一千武裝を解除

【北平卅一日同盟】一時通州を脫し退却り三十日夜六百、三十一日朝四百、計一千の保安隊は我軍の手に…北平城內に逝入せんとしたが城門を閉ざされ果さず安定門外で悉く武裝解除された

## 冀東保安隊を擊破

【天津卅一日同盟】駐屯軍司令部午前零時十分發表
一、奈良部隊は昨三十日午前十一時四十分五百子（北平西北方約四キロ）において既に反亂したる冀東保安隊約三百と衝突これを擊破せり、敵の遺棄死體約百五十にして小銃、輕機關銃十一を鹵獲せり
一、長辛店方面の敵は疾風の如く遁走した、目下良鄕以北には敵を見ず

## 殷汝耕氏拉致さる

【東京電話】陸軍省許可濟＝一日…殷汝耕氏は保安隊第一總隊のため北平西方の…に拉致されてゐるとの說あり（寫眞は殷汝耕氏）

【天津三十一日同盟】冀東防共自治政府長官殷汝耕氏が拉致されると共に冀東政府天津辦事處では三十一日午前池宗墨代理長官を始め關係參集應急對策につき重要協議をなすと共に池代理長官は一兩日中に通州に赴き政務を代行することになつた

# 河邊部隊、長辛店を占領

【天津三十日至急報同盟】三十日午後九時半駐屯軍司令部發表＝河邊部隊は本日午後三時長辛店とその附近高地を占領せり

## 敗殘兵を掃蕩

【天津卅日同盟】日本租界警備隊支那街東端方面…南開女子中學校附近にある支那敗殘兵は日本租界に…

わが海軍が攻擊占領した太沽 △印は支那軍砲台、○印は埠頭

# 潮州在住台灣人汕頭へ引揚

【潮州三十日同盟】潮州在留日本籍民…約三十名は支那側の不法行爲著しきに堪へかねて二十九日つひに汕頭に引揚げた、汕頭市內の在留邦人に對する壓迫は次第に加はりその大半は既に引揚げたが支那側は家財の運搬を拒否するは勿論市當局は食料品、日用品、水道電燈等の配給停止を決議し入港問題にまで及びつゝあり彼我の感情は益々尖銳化してゐる

# 北平天津附近圖



# 人民戰線の巨頭釋放さる
## 藍衣社ら右翼讓步

【上海三十一日赤星特派員發】抗日救國陣營を牛耳つた人民戰線派の七巨頭中沈鈞儒ら…は遂に卅一日保釋され、蘇州の監獄房より野に放たれるに至つた、沈等の保釋は右傾藍衣社ら右翼派の讓步によるもので全く北支事變が彼等の主張を有利に導き、これを抑へ得なくなつたためである、七巨頭を迎へた人民戰線派の活躍は今後益々激化すべく既に上海保安隊の使嗾をはじめ凡ゆる日支戰線の擴大への畫策がすゝめられて居り、我が當局は重大關心を持ち成行きを監視中である

## 吳、廣東要人に抗日對策を傳達

【廣東三十日同盟】廣東省政府主席吳鐵城は三十日午後五時廣東着列車で南京より歸任したが直に第四路軍總司令部に余漢謀…等を參集せしめて中央政府の全國抗日對策を傳達、軍、政兩方面の…方針を決定、同時に各方面に對する中央の命令を傳達したが、三十一日政界、財界各方面の首腦者を召致、右主旨を傳へ重要會議をとぐる筈である、抗日思想…、國民一般に徹底せしめるため今議會において機會ある毎に…

## 貴衆本會議で陸海兩相報告

【東京電話】今次北支事變の重大性に鑑み陸海軍では事變の推移を…することになつたが差當つて三十一日午前の貴族院本會議、午後の衆議院本會議劈頭杉山陸相及び米內海相より北支地方における戰況を中心に情勢を報告することになつた

## 英支借款成立
### 兩鐵道で七百萬磅

【ロンドン三十日同盟】孔祥熙氏が排日中英公司との間に廣梅鐵道公債三百萬ポンド、浦口襄陽間鐵道四百萬ポンド合計七百萬ポンドの新借款契約を締結調印を了つた、孔財政部長はアメリカ訪問を終へて再度ロンドンに歸來、イギリス政府及び財界方面と協議してゐた

# 鐘紡地區の敵を攻擊（高木部隊）

【天津三十一日同盟】支那駐屯軍司令部午前八時發表＝三十一日午前五時頃より在天津高木部隊總站附近鐘紡工場地區の敵を攻擊中

【天津三十一日同盟】今朝五時過ぎより我が高木部隊は總站方面に進出公大第七廠（鐘紡の天津における第二工場總站の東南）附近に巢喰へる支那軍に猛烈な砲擊を加へ大打擊を與へ敵は四散した

## 支那軍續々退却中

【天津三十一日同盟】支那駐屯軍發表＝我が各部隊の猛烈な攻擊に支那軍は各地において大打擊を受け續々退却中、三十八師百十二旅は…村方面に退却中、百十二旅の…二百三十三團は…の地區に、反二百三十四團は大…東南方小站方面に移動中、永定河左岸に敵の大部隊なし

## 天津塘沽線回復す

【天津三十一日同盟】天津塘沽間は三十日午前九時に至り同區間は三十日午前九時…つたが右は軍糧城塘沽間で支那軍…がレールを取外したゝめ通常旅客列車が折重つて顚覆し無殘にも乘客中五十名は慘死重傷六十名を出したが同日午後以來天津塘沽間の交通回復し我が部隊も無事天津に到着してゐる

# 敗殘兵を殲滅す

【天津三十日同盟】本日午後二時過ぎ日本租界芙蓉街、北端日支境界…

# 北平居留民異狀なし

【北平三十一日同盟】北平城內は漸次平靜に歸りつゝあり居留民に異狀なし

# 北平自治委員會
## 卅日から執務開始

【北平三十日同盟】北平地方自治會は北平の名士江朝宗氏を首席に、商會、銀行界の代表者家驥、鄒泉蓀、地方自治會代表呂均その他文化團體代表、北平地方民間團體代表陳覺生、周肇安諸氏の委員によつて三十日成立した、北平地方自治會は…部を整理し暫定公安局を本城に置日商務を開始し治安維持に…後體…に當ることになつた、なほ治安委員は江朝宗、冷家驥、鄒泉蓀、呂均、陳覺生、周肇安の六氏で更に必要に應じて…補員をなす



# 最惡の場合に對する決意をもつてゐる
## 近衛首相答ふ（衆議院豫算總會）

【東京電話】三十一日衆議院豫算總會は午前十時…開會
一、昭和十二年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）
一、昭和十二年度特別會計歲入歲出豫算案（特別第二號）
につき賀屋藏相より說明あつて後

**原惣兵衛氏**（政友）政府は今後如何なる革新政策を行ふ方針であるか

**近衛首相**　次の通常議會には總ての根本となる議會改革の具體案を提出し同樣の意味において學制改革にも着手する豫定である、また社會立法も必ず提出する考へである

**原氏**　滿洲移民に對する拓相の方針如何

**大谷拓相**　二十ヶ年百萬戶案の第一着手として五ヶ年計畫十萬戶移殖を國是として是非とも遂行したい

**原氏**　滿洲國における領事館を撤廢する意思はないか

**廣田外相**　滿洲國の發展に伴ひ領事館事務も減つて來てゐるので相當の時機に撤廢するつもりである

**原氏**　北支事變に對する政府の決心如何

**近衛首相**　私としては今日においてもなほ平和の望みを捨てゝゐない、しかし最惡の場合に對する決心は持つてゐる

**原氏**　文部省發行の「國體の本義」なるパンフレット中わが國體は君民共治であつて三權分立でもなく法治主義でもないと書いてゐるが如何なる意味であるか

**安井文相**　我國の國體を解釋するに當りにおいて西洋流の考へ方を排するといふのである

**原氏**　然らば我國は法治國でないといふのか

**安井文相**　この本の主旨については輕率な取消は許されないから鄭重な研究した上善處する

**原氏**　之に關聯し牧野良三氏（政友）不穩當と思はれる點を取消しては如何

**河野密氏**（社大）國民生活の安定に關しては如何なる方針をもつてゐるか

**近衛首相**　特別議會後研究して次の議會には相當のものを提案したいと思つてゐる

代つて堀內良平氏（民政）の質問あり午後零時十分休憩となる

# 一發の外れ彈もない
## 大賀參謀・空爆の威力を語る

【天津三十日同盟】郎坊の空爆を皮切りに南苑、通州さては天津附近の支那側陣地を爆擊、殲滅的打擊を與へ戰線を有利に導いた我空軍の活動は最も目ざましいものがあるが右につき〇〇隊大賀參謀は三十日午後六時左の如く語つた

南苑、西苑で敵大部隊の本據を空爆しわが部隊は二十九日天津日本租界を攻擊した支那軍陣地、市政府、警備司令部、公安局等を完全にやつゝけた、一發のはずれ彈もなく皆目的地に炸裂して氣持がよかつた、東站で爆撃に振舞つてゐた支那軍は我空爆で完全にへこたれてしまつた

# 左岸（永定河）敵影なし
## 敗殘兵は馬廠に逃亡

【天津三十一日同盟】三十一日朝までの情報によれば（一）すでに全般的に見て永定河左岸地區の敵部隊は大體掃蕩を了した（二）獨立第二十二旅團李致遠は殘兵をひきゐて津浦線馬廠（天津西南方）附近に退却した（三）第三十八師副師長李文田は三十日夕刻より殘兵を纏めて馬廠附近に到着した、また同地の第百十二師長黃維綱は馬廠に向け退却中である

## 京畿警察異動

補元山警察署長（開城署長）藤田乙吉郎▲命京畿道在勤警察部警務課勤務（永登浦署長）二階堂昇▲補京城永登浦警察署長（揚州署長）新海公▲補京城消防署長（揚州署長）野口謙吉▲補揚州警察署長（抱川署長）井上己吉▲補抱川警察署長（仁川署）代田友太郎▲命警察部衛生課兼警務課勤務（警務課）黑川茂馬▲命開城警察署長事務取扱（開城署）今永紫六▲命仁川警察署勤務（廣州署）内山福松▲命警察部警務課勤務（保安課）江藤正登▲命警察部保安課勤務（漣川署）草野育次郎▲命漣川警察署勤務（鐘路署）山下英夫▲命廣州警察署勤務（開城署）神經隆▲命長湍警察署勤務（警務課）田丸剛▲命京城永登浦警察署勤務（保安課）中島勇夫▲命京城鐘路警察署勤務（永登浦署）吉井勘男

## 天地玄黃

蔣介石、二十九軍の敗北をあつさり認めたさうな、あの位叩きのめされたのでは、如何に何でも支那軍惨敗とはいへまいて
×
その蔣介石、「中國は戰場に於て最後の勝利を期する限り、日本をして支那の侵略を達成せしむる能はず云々」と放かしたり
×
その文句はこちらで云ふことなり、「中國」を「日本」に「日本」を「支那」にやき直して見よ
×
「支那大使館」…四國干涉を念願せしといふ
×
今時四國干涉などといふ古い手を考へる頭では、大使のお役は立ち申さず
×
天津領事館支那側の不信を難じたといふ。當然のことだが當然のことである。

# 國定忠次（11）

長谷川伸作
岩田專太郎畫

慶寺（四）

彫刻濫惡、と見て、十郎兵衛はもとより、關八武者之助、三人とも數圍いて片膝立てる、それを尻目に掛けた忠次郎は、

「だが」

と、いつて、三人の顔を眺めてゐる。

「何ッ」

武者之助が憎しげに睨む、その顔をじろりと忠次郎は眺め、

「名乘りつてものは、訊いた方から先にいふものだ、お前さん方がご順でお先だ、さあ名乘つてくれ」

十郎兵衛がせゝら笑ひ、

「いよいよ猪口才な若僧だ。それがしはけんどん十郎兵衛といつて先頃まで或るお屋敷にて劍術指南を仰付けられてゐた者であるが」

「そんなのはいけねえ。本名をいつた」

「本名?、本名なぞ、勿體ねい、われなどに聞かせられるか」

「さう云ふものかね、じやあお次だ」

「おれは柳剛武者之助」

「柄にねえ、いや、こいつも本名は勿體ねえのか、お次の番だ」

「おゝあ猫者の關八よ」

「猫ぜか猫ッか」

「何をッ、もう一遍聞かせてやるからよく聞け、猫者だ」

「猫ちや猫ちやとおつしやいますがの猫じやかし」

「この野郎、他人をおひやかしやがる」

「三人とも本名を勿體ながりやがつて隱しやがつたが、おれはそんな吝なことはしねえ、名乘るぞ、よく聞け、おれはな、上州の國定忠次郎つてんだ」

名乘つても、目前の、その忠次郎は、關八州はさて、赤城山の近村へ行つても、すこしも名が賣れてゐない、案の定、三人ともケロリとしてゐる、中にも十郎兵衛は、

「國何とかの忠次郎とかいふのが鞘つた、鞘つたよ、それで、どういふ事になる?」

「おれの道連れの女を、おれが置つて行くのさ、鞘つた話だ、ね、さうだらう」

「女など知らんな」

「おらしちやいけねえ」

「知らんよ」

「さうか、知らねえんだな」

「おう、知らん」

「そつちの二人も同じく、知らんの口だね。さうか、それでは、おれの道連れで、今し方の雨で雨宿りにこゝへ一人で駆込んだのだらう」

「こら、どこへ行く」

「十郎兵衛さん、心配しねえでくれ、お弓を探しに行くのちやねえ」

「お弓とは何だ」

「あれ、お前、女房の名を忘れたのか」

「たわけ、何をいふ」

「阿波の十郎兵衛の女房はお弓と極つてらあ」

「待てッ」

「待たねえ」

「待たねえと、おのれッ」

「斬つて捨てるか」

「無論だ」

「何だ何だこの獸どもは、ちよろ劍け猶の、がたくり丸や鈍刀丸をひねくりやがつて、おれを斬り捨てるつてのか大べら棒め、そんな忠次郎と忠次郎が違はあ、おんなじ忠次郎でも天井裂の駄忠次郎だつて、うぬ等の斬罪にあふものかよ」

忠次郎が長脇差を、こんな場合にふるつてゐるのは、旅の修行中、會得した一ッで、奧州めぐりから越後へ出る途中、羽後の雷蛛で出會つた圓次郎といふ年上の旅人から教はつた手段の一ッがこれ。から撥したてゐるうち、有利な位置を占める他に擲つもの得がある。その代り、常に今斬付ける、今斬付ける、といふ屡態が巧みに伴はないと效能がない。忠次郎は、その腰態が飛びきり巧い、で、三人は身の要備に氣とられ、折角最初に占めた有利な陣近が、最早崩れて役に立たなくなつてゐる。

と、十郎兵衛が、蜂に刺されたやうに突ッ起し、

「斬棄てるぞ、良いか」

「こつちも斬棄てえが良いか」

「猪口才な」

十郎兵衛が踏出すより先に、關八、武者之助が、我武者羅に斬つてかかつた。

## 國定忠次　前面迄の梗概

文政十三年の梅雨時、上州佐位郡國定村養壽寺の境内で島村の博徒伊三郎に睨まれ詰められた忠次は、その腹いせに首を縊り、木の枝が折れて地に落ちた、そこへ通りかかつた新田一族の末裔である樹工金井佐仲太、忠次郎に諭して、成るなら強い博徒になれ、と名も告げずに立去つて行く、と、思案にふける忠次の背後から伊三郎の乾分が二人、彼の兩腕をとり島村へ引き立てる、石段を降りる際、忠次郎は捨身の一策、身體をぶつけて三人轉げ落ち、腰の立たぬ二人を前に啖呵を切り、どこともなく姿を消してしまつた。

一本の刀に脅の旅ぞら、股旅街の流離をはき代へては奧州から越後路、信濃から甲州へ入り、來かゝつたのが北武藏の一角、丁度旅へ出て二年半、二十三歳の忠次郎である。ふと、雨宿りに飛び込んだ社堂の中で、江戸からの道中、姉をさらはれた者と[illegible]

商業及法人登記公告

平壤地方法院

内鮮運輸艀出帆
| 船名 | 日 |
|---|---|
| 阪神行　桐丸 | 八月二日　三日 |
| 阪神直航行　壽丸 | 八月四日　五日 |
| 阪神直航行　美春丸 | 八月五日　六日 |

香船共都合ニ依リ關門、神戶、內海寄港仕ル可ク候
仁川府四丁目
大和組回漕部
電話一一〇〇番　現地七一〇三五番七番

# 『天津市治安維持會』を設置するに決定
## 委員長には高凌霨氏を推し 一兩日中に正式成立

【天津三十一日同盟】天津においては事變發生以來市内の治安に關し各方面の有力者間により〳〵協議を進めてゐたが、いよ〳〵市各界人士を主體として天津市治安維持會を設置するに決定、委員長に高凌霨氏を推し一兩日中に正式成立を見る運びとなつた、高凌霨氏は曹錕大總統の下に國務總理を勤めたほか、北京政府の各要職を歷任した直隷系の要人で當年七十歲、天津地方において信望厚き老政治家である

## 保定驛は火災を起す 我軍飛行機の爆擊敢行で

【天津三十一日同盟】保定方面における中央軍の集結狀情を偵察した我軍飛行機は三十日午後保定に一個列車を發見之に爆擊を敢行した、なほこの爆擊によつて保定驛は火災を起した

## 中央軍の先鋒は瑠璃河に入る 更に北上せば衝突は不可避

【南京三十一日同盟】中央軍の先鋒部隊は三十一日拂曉長辛店南方十七キロメートルの瑠璃河に入つたと傳へられる、同部隊が更に北上する場合には日本軍との衝突は殆ど不可避と見られる

### 通州の邦人を氣づかふ

【北平卅一日同盟】通州冀東叛亂事件が漸次判明するに及び日本居留民は通州にある家族や知人などを氣遣ひ飯も咽喉に通らず大使館或は憲兵隊に問合せのため殺到してゐる、三十一日日本居留民會で通州救援々護隊派遣の議が起るや、希望者は多數に達したが

市街戰展開の天津日本租界
（1）旭街通り（2）中原公司（3）日本人クラブ（4）大和公園（5）日本領事館（2）より下方が日本租界

### 敗殘兵及便衣隊を擊退す

【天津三十一日同盟】三十一日午前十一時半頃天津總站の附近に敗殘兵は便衣隊と協力東站と總站間の公大第二廠を再び襲擊して來たので、我が警備兵は應援隊と協力して之に攻擊を加へ午後四時擊退目下北方に追擊中である、この戰鬪において義勇隊の天倉組員玉榮氏（香川縣出身）は遂に戰死し、公大第七廠警備の乃木忠則氏他一名は負傷した

### 約一千名武裝解除

【北平三十一日同盟】我援軍の到着により通州より潰走した叛亂保安隊數千は現在北平安定門、德勝門の城外に集合し全く戰意を失つてゐるが、隊長も逃失したゝめ四分五裂の狀態となり現在までに武裝解除されたもの約一千名に達してゐるが、その他は武裝のまゝ北平に入城する恐れあるの動向は危險である

### 北平居留民に病人續出

【北平三十一日同盟】籠城中の居留民は不順の天候と慣れない生活のため病人が續出して居り、三十一日現在患者數は總計八十名に達し內傳染病患者十二名（猩紅熱、赤痢）を數ふるに至り極力防疫に努めてゐる

### 共同動作に出る事なし 米國務長官斷言

【ワシントン卅日同盟】ハル國務長官は三十日新聞記者團との會見の際、記者の質問に答へてアメリカ政府は北支の情勢に關し他の國と共同動作をとることなしと斷言した、なほハル長官は歐米諸國が北支の危險地帶から在留外國人を引揚げしめるため日支兩國に對して四、五日間の休戰を提議し目下交渉中とのニューヨークタイムス紙の報道に言及して

かゝる事實は全く關知せず、又かゝる噂がどこから出たかについて全く理解し難い、アメリカ政府は北支の情勢は次第に平靜に歸しつゝあり、在留アメリカ人は他の外國人同樣安全に保護されてゐる旨の公電に接した

と述べた

### 濟南在留婦女子大部分引揚完了

【濟南三十一日同盟】領事館當局の引揚げ勸告により三十一日の避難列車を殿りに、在留婦女子の大部分は青島或は內地に引揚げを完了した

## 冀東政府の長官代理 池宗墨氏に決定

【天津三十一日同盟】冀東防共自治政府長官殷汝耕氏は叛亂保安隊のため拉致せられ、その職務を遂行し能はざるに至つたので三十一日同政府秘書長池宗墨氏が長官代理に就任することに決定した、同氏は三十一日午前[illegible]に關し左の如く語る

冀東の政治は一刻も忽せに出來ない、私は殷長官に代つて直ちに職務を遂行する事になり一兩日中に通州に赴いて就任する考へである、私の施政方針は冀東の從來の防共を中心とするものであるが、現下の情勢から見てまづ冀東の治安を眞先に確立すると共に、民衆に對し日本を絕對に信頼せよとの民衆工作に重點を置く決心である

### 殷汝耕氏謹愼中

【北平三十一日同盟】某所に避難した冀東政府長官殷汝耕氏は、今回の通州事變に關し北平日本居留民會特別委員會今村議長を通じ日本人に對し非常な迷惑をかけたことは責任者として實に遺憾に堪へざる旨述べ、痛く恐縮して謹愼中である

## 平漢、津浦兩線に於る支那軍の狀況

【天津三十一日同盟】空軍偵察によると平漢、津浦兩線方面の支那軍の狀況は左の通り

一、平漢線良鄕以南保定間に二十個列車が北進中である、なほ石家莊の軍用列車の徐水南方に一個列車、保定附近に一個列車があり我が飛行機はこれに爆擊を加へた模樣である

一、津浦線滄州附近に五個列車、靜海に一個列車及び右兩地間に北上列車を發見した、なほ空軍の主力を滄州方面に置いてゐるものの如くであるが、平漢、津浦兩線の主要地にも飛行場を急設中で、飛行機ガソリンの貯藏を行ひ同地附近には空軍根據地の諸設備を完了した模樣である

## 中央軍は續々北上す

【濟南卅一日同盟】中央軍は五ケ列車に分乘、多數の軍需品を滿載して昨夜濟南驛を通過北上し今朝滄州に到着した、同方面には臨城方面の中央軍が韓復榘を迂回して到着して居り津浦線北段は極度に緊張してゐる

## 汪、蔣の重要協議 三時間に亘る

【南京三十一日同盟】汪精衞は本日午後四時十五分軍官學校の官邸に蔣介石を訪問、北支時局につき前後三時間に亘り第三者を交へず重要協議をなす所あつた

## 天津戰に於る我軍の損傷

【天津卅一日同盟】廿九日午前二時より天津において開始された第廿九軍保安隊攻擊戰における我軍の戰死傷者左の如し

一、二十九日午前三時南開大學附近における戰死傷者
▲戰死 一等兵松井忠夫（川岸部隊）
▲重傷 軍司令部附通譯淺井誠一
▲輕傷 上等兵森本操平、一等兵寺下君治、同久原三郎（以上川岸部隊）

一、二十八、二十九兩日に亘る天津東站における戰死傷者
▲戰死 輜重兵中佐丸山力男（川岸部隊）歩兵少尉深見望（川岸部隊）歩兵上等兵堀尾政雄、同一等兵三浦稚美、同岡安木繁夫（以上菅島部隊）特務兵兒玉武夫（安達部隊）
▲戰傷 工兵上等兵畠木政治、荒木正雄（以上荒木部隊）歩兵上等兵中島政雄、工兵上等兵松尾次郎（以上南雲部隊）歩兵一等兵竹岡鶴雄、丸見德治（以上安達部隊）歩兵一等兵河合正夫（南雲部隊）特務兵假山中一、石黑德一、神吉濃（以上安達部隊）司令部附通譯尾形雅雄

一、二十八、二十九兩日中日本學園附近における戰死傷兵
▲戰死 砲兵一等兵江崎竹夫（細川部隊）
▲戰傷 砲兵上等兵今井弘、同三輪保夫（以上細川部隊）歩兵一等兵中西辰三（細谷部隊）

## 前敵總指揮に宋哲元を任命

【南京三十一日同盟】軍事委員會は三十日附で宋哲元を華北前敵總指揮に任命、即日就任を命じた

### 本府辭令（七月卅一日附發令）

任本府技手　本府技手　吉川良治
內務局勤務を命す
　本府遞信技手　稻垣忠次郎
任本府遞信技師（七等）
　本府鐵道局技手　長岡淸一郎
　小松盛次郎
任本府鐵道局技師（七等）（各通）
　本府稅務署屬　仲承國
任本府稅務監督局事務官（七等）
京城稅務監督局在勤を命す
　本府慶尙北道郡屬　白雲商
任本府郡守（七等）
慶尙北道軍威郡在勤を命す
（星州郡）本府郡守　朴淵軸
慶尙北道星州郡在勤を命す
（軍威郡）同　黃鋙
慶尙北道醴泉郡在勤を命す
任本府道理事官（八等）　本府平安南道郡屬　金元八
平安南道在勤を命す
　本府農事試驗場技手　一木寬
依願免本職

任本府道技師（七等）
京畿道在勤を命す
　朝鮮公立中學校教諭　佐藤隆喜
同　清澤吉司
任朝鮮公立中學校教諭（七等）
補平壤公立中學校教諭（各通）　水越實美
任朝鮮公立高等女學校教諭（七等）
補京城第一公立高等女學校教諭
　朝鮮公立實業學校教諭　三浦市藏
任朝鮮公立實業學校教諭（七等）
補平壤公立農業學校教諭　同　西山耕之
補清州公立農業學校教諭
　本府遞信副事務官　片山綠次
同　堀武一郎
同　青木勘太郎
同　神之門武次郎
同　井上三之介
　本府鐵道局副參事　森井武大
　京城帝國大學事務官　北村忠夫
　本府道理事官　有田清信
依願免本官（各通）
　朝鮮衞生技師　岩澤治義

## 北支事變其後の經過 陸相から報告
### 衆議院本會議（卅一日）

【東京電話】三十一日の衆議院本會議は午後一時十分開會直ちに日程に入り、

一、通信事業特別會計における簡易生命保險及び郵便年金の餘裕金の運用に要する經費に關する法律案（政府提出）

を上程、精織法改正委員會に併託、この時北支事變その後の經過報告のため陸相發言を求めて登壇、戰況における同樣の報告をなしたのち

**杉山陸相** 在留邦人の現況に關して北平、天津、通州における在留民の狀態について御報告致します、北平におきまして事變勃發前內地人二千名、半島人一千九百名、合計四千名引揚げ後數は公使館地區に保護中でありまして、その數は二千四百名で別に異狀はありません

次に天津におきましては現地保護の可能なる者は現地保護に任じ、然らざる者は租界に收容致しておりますが大して被害はない模樣であります、また通州におきましては內地人百十三名、半島人百五十九名その他特務機關若干名がありますが、冀東保安隊の反亂によりまして在留民特務機關等に多數の死傷者を出しましたことは頗る遺憾に堪へませんが、さきに述べました通りまだ確報に接してをりません

旨を附言し次いで米內海相の報告あり、終つて日程に還り

一、軍機保護法中改正法律案（政府提出貴族院送付）
一、兵役法中改正法律案（政府提出）
を上程十八名の委員附託
一、裁判所構成法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
を軍機保護法委員會に併託
一、大正十二年法律第百二號中改正法律案（同上）
一、刑事訴訟法中改正法律案（同上）
三案を一括し陪審法改正案委員會に併託
昭和十年度第一豫備金支出の件
昭和十年度特別會計第一豫備金支出の件
昭和十年度特別會計第二豫備金支出の件
昭和十年度滿洲事件費第一豫備金支出の件
昭和十一年一月より同年三月迄昭和十年第二豫備金支出の件
昭和十一年一月より同年三月迄昭和十年度豫備金外において豫算超過及び豫算外支出の件
昭和十一年一月より同年三月迄昭和十年度特別會計第二豫備金支出の件
昭和十一年一月より同年三月迄昭和十年度特別會計豫備金外において豫算超過及び豫算外支出の件
昭和十一年度第二豫備金支出の件
昭和十一年度特別會計第二豫備金支出の件
昭和十一年度特別會計豫備金外において豫算外支出の件（承諾を求むる件）
を十八名の委員附託
一、陪審法中改正法律案（牧野良三氏外八名提出）
一、同上（野田文一郎氏外二名提出）
一、酒造組合法中改正法律案（政府提出）
を陪審法委員會に併託
一、大正十二年法律第五十二號中改正法律案
一、恩給法中改正法律案（宮脇長吉氏外一名提出）
を上程、陪審法並に軍機保護法委員會に夫々併託、午後三時四十分散會

## 貴族院本會議 陸海相、經過報告

【東京電話】三十一日の貴族院本會議は午前十時八分開會、杉山陸相直ちに發言を求めて登壇、七月二十八日以後の平津地方における情勢につき詳細なる說明を行ひ更に通州の兵變、中央軍の北上狀況等を說明

駐屯軍は千萬人の敵と雖も吾征かんの意氣をもつてゐる

と述べ次で米內海相も發言を求め陸軍と協力して萬一に備へるため所要の兵力を配備し二十九日大沽においては支那兵の發砲に應へ陸軍と協力してこれを擊退し水陸呼應して萬全の備を講じてゐる、また山東中南支方面の排日抗日については出先官憲と協力これが防止に努めてゐる特に第三艦隊司令長官より支那側に對し排日抗日の言動を禁止するやう要望した、海軍としては今日まで事變の擴大波及を抑止するとに努めてゐるが萬一に備へるため萬全を期しつゝある

と詳細說明すれば議場は[illegible]しく緊張する、かくて日程に入り

一、貿易及び關係產業調整に關する法律案（政府提出）
一、貿易組合法案（同上）
一、工業組合法中改正法律案（同上）
の三案につき山田委員長より委員會の經過並に結果を報告可決、次いで
一、百貨店法案（政府提出）
を上程片山委員長より報告あつて可決

## 衆議院 豫算總會

【東京電話】卅一日の衆議院豫算總會は午後一時十五分再開

**堀內良平氏**（民政）保險の官營國營を行ふ考へありや

**吉野商相** 近い將來において行ふ考へは毛頭ない

**河野密氏**（社大）明年度において地方財政調整交付金を增額するとの說があるが事實か

**賀屋藏相** 地方稅の現狀と併せ考究する必要あり、未だ決つてゐない

**河野氏**
一、北支事變勃發を考慮に入れて明年度以降の財政の見透しを如何に立てゝゐるか
一、北支事變追加豫算は更に提案する考へか
一、北支事變を中心に新たに增稅する考へありや

**賀屋藏相**
一、今後の財政經濟力を充分考慮した上その範圍內にて立てる考へである
一、事件費の第二次追加豫算は何れ御協賛を願ふ筈であるが、その金額は只今御審議願つてゐる金額よりも遙かに多いと思ふ
一、事件費の財源は取敢ず公債によるが、事變擴大の如何により適當な財源を講ずる

**堀內氏** 軍人給與を強化する考へなきや

**杉山陸相** 在役兵の給與については充分とは言ひ難いが、目下のところ次の議會に增額を要求する考へはない

次いで高見之通、高橋壽太郎兩氏の質問あつて午後七時七分散會

### 貴院各派交渉會

貴族院では三十一日午前十一時より院內議長室に各派交渉會を開き北支事變關係陸海軍當局說明のため各自十四分づゝ延出することに決し、これが實施について陸海軍大臣と協議の上適當の方法を執ることゝし、尙は書記官長より

「時局重大の際であるから首相以下關係大臣は公務上必要に應じて本會議又は委員會より隨時退席する場合あるやも知れざるにつき豫め御諒承されたい」

旨政府より申出であつた旨を報告同三十分散會した

## 川岸部隊戰死傷者の出身地

▲戰死 歩兵一等兵松井忠夫（大阪府南河內郡國分村大字國分一四八四松井忠一方）砲兵一等兵江崎竹夫（岐阜縣本巢郡眞桑村現住所は全南木浦面里）
▲戰傷 砲兵上等兵今井弘（大阪府住吉區平野宮）同三輪保夫（山口縣吉敷郡川村大字江崎）
▲戰傷 歩兵一等兵河合正夫（岡山縣賀數郡）同上等兵森本操平（香川縣綾歌郡美合村大字勝浦九八六）同一等兵寺下君治（和歌山縣海草郡安石村大字本渡五一七）同久原三郎（山口縣熊毛郡室津村七五六）

### 通州に於る我損傷

【天津三十一日同盟】通州附近における戰鬪の戰死傷者のうち判明せるもの左の如し
▲戰死 將校二、下士以下八、計十
▲重傷 將校一、下士以下八、計九
▲輕傷 將校五、下士以下二十三、計二八

## 東拓の職制大改革

【東京電話】東拓では安川總裁就任以來機構大改革を企圖し、かねてより拓務省に認可申請中であつたが三十一日附をもつて正式認可を得たので、いよ〳〵來る八月十日より左の如く改正することゝなつた

▲本社
一、從來の總務課を人事及び庶務の二課に分つ
一、事業課を二分し第一課及び第二課とする
一、管理課を廢止して農林課を新設す
一、總裁室を新設し檢査役及び顧問を置く

▲朝鮮
一、從來總務、金融、農業、林業の四課中、農業、林業の二課を廢止して地所及び事業の二課を新設する

なほ右職制改革に伴ひ八月上旬相當範圍に人事異動が行はれる模樣

### 人

◇土師盛貞氏（朝鮮放送協會長）內地出張中二日京城歸着の豫定
◇加藤不二夫警視（京城龍山署長）新任挨拶のため三十一日本社來訪
◇後藤富三氏（京城西大門警察署勤務）同上
◇任興宰警視（慶北巡査教習所々長）同上

### 東西南北

南總督は國技相撲は大好きで、特に双葉山は同鄕の關係で力瘤を入れてゐる▲總督が眞實に相撲通になつたのは近衞の聯隊長時代だらうで、大相撲の本場所には必ず近衞の將校連が招待されてゐる▲そこへ近衞の將校連が何時も砂かぶりに行く、總督もその時間近で砂かぶりに行つて

▲あの『待つた』を見て『遠くで見ると待つた〳〵と坐つたり立つたり、水をのんだり鹽を撒いたりするのが嫌に隙つたが、間近の砂かぶりで見ると成る程と思はれる』▲『あの待つたも一つの相撲の手だ、近頃のやうに時間をきるとどうも眞實の相撲は見られんと思ふが』といふと▲立浪親方が『今に十分間となつてゐて段々慣れると氣合も掛つて來ます』で『やはり進歩かな』に皆ドッと來た（東西南北）

コドモページ

# うそを見やぶる機械が發明された

## うつかり嘘はいへませんよ

『太郎君兵隊さんを送りに行つたかい』

と聞かれて太郎は『えゝ』と嘘をつきました、この嘘を見破る機械がちやんと發明されました

『花子ちやんけさお寢坊したでせう、八時過ぎに起きたでせう』

『いゝえ』

この嘘をたちまち發見する機械が出來たのですから、これからはうつかり■嘘■をいふことが出來ません、嘘をつくと人間の體には特殊の電氣が起る、これを或る機械にかけて調べて見ると、その人のいつたことが嘘か本當かゞわかつてしまう、といふやり方です、これをもう少しくはしくいふと、まづ人間を電氣の通じてゐない椅子に腰かけさせ、片手の指一本を、側に裝置された電極の食鹽水に入れさせます、電極とか電流計などの裝置は專門家でないとわかりにくいが比較的簡單なものださうです、これは早稻田大學の心理學教室で考案された方法ですが、先日東京の放送局で實驗が行はれ相當の成績をあげました、まだ色々の不備があるので■百■發百中とはいえませんが、やがてだん／＼研究が進んで來たら警察で嘘をつく泥棒などは一ぺんで嘘を見破られるやうになるでせう（寫眞はその實驗です）

## 勇士と家族を市民全部で助けよう

### 軍事後援聯盟が出來ました

北支事變が起つてから後、我々日本國民がそれこそ一人殘らずみんなの心が、世界の正義と東洋の平和とのために戰ふ皇軍に對する信賴と感謝の唯一つのまごころになつて燃え上り、見送り、慰問袋、國防獻金等となつて現れて、今更ながら我々日本國民の誇りと心強さを感じさせます

◇　◇

然しながら今度の事變の成行はどこまで擴がつて行くのか全く見當もつきませんそれで私達は今までめい／＼が思ひ／＼にやつて來たかういふ銃後のつとめをもつと纏めて、もつと上手にしなければ、これをいつまでも長く續かせ、十分に役立てることが出來なくなるかもしれません、その必要から今度京城に京城軍事後援聯盟といふものが出來ることになりました、これには京城にある殆ど凡ての公私の團體が加はつてゐます、そしてその仕事はどんなことをするのかといひますと

一、府民に銃後から皇軍を援けるといふ考へをもつともつとよく分らせること

二、戰爭で怪我をしたり、名譽の戰死を遂げた軍人の人々を助け慰めて上げること

三、入營したり、戰爭に出たりした家の人々の商賣や仕事のお世話をすること

四、軍人を送り迎へすること

五、軍人に慰問袋や慰問品を送ること

等です、もう一度言ひ直しますと今まで皆がやつて來たことを恒久的な組織や計畫で秩序だてゝ繼續して行つて、皇軍の士氣を勵まし、その勞苦を慰め、更に戰爭に出た軍人が決して殘つた家族の人達のことなどを心配しないで、立派に勇ましく御國のために戰へるやうに私達銃後のつとめを十分に果すためです、發會式は一昨日府民館で行はれました

## （童話）兵隊さんと手紙

佐々千章　野本年一繪

これは先日開城郡で實際にあつた事實話を、童話風に書いたものです　―記者―

〃僕も行くよ〃

〃俺もついて行くよ〃

〃お爺さん大丈夫かい、この間の雨で峠の道が大部惡いんだよ〃

〃馬鹿な、お爺さんが若い時はヌクテとマラソン競走をしたもんぢやよ、それにお父さんがまだ前から歸らないんだから、お前のお父さんの代りに、このお爺さんが出かけるんだよ〃

〃おやお爺さんの分も、陸作（？）らうか〃

と金榮敦は繪具を解いて日の丸い旗を大きく染めました

■夕飯■を早めに濟ませて二人はこの部落から五キロ程離れた停車場へ急ぐのでした。ほんとうをいふと、お爺さんはまだ兵隊さんを見たことがないのです、強い／＼日本の軍人は、一體どんな顔をしてるのだらう。どんな勇ましいいでたちをしてるのだらう、お爺さんに普通學校の講堂に掛けてある、日露戰爭の神繪の、あの勇ましい兵士の顔を思ひ浮べました。さういへば、金榮敦だつて、この前の機動演習の時部落を通つた兵隊さんをたゞ一度だけ見たことがあるだけです。あの時校門の前に休んで、僕に麵麭をくれたあの兵隊さんも、ひよつとしたらけふの列車に乘つて來るのではなからうか。さう思ふと金榮敦の足は急がずにはゐられませんでした。峠の上から見下すと、はるかの驛にはもう澤山の日の丸が集つてゐるのが見えました

〃金榮敦、それ駈け足だ〃

今度はお爺さんが急ぎ出しました

……★……

小さい驛の構內はもう一ぱいの人で埋つてゐました。李君や朴君などクラスの五年生は一緒に固まつてゐました、靑年團や白たすきの■婦人■會のおばさんもゐました。受持ちの中川先生の顔が見えたので金榮敦はおじぎをしました、お爺さんは何遍も頭を下げました

〃もうすぐ來ますよ〃

先生がさうおつしやつたので金榮敦の胸は急にワク／＼しました、やがてごう然たる音を立てゝ驀進して來た列車、誰が一番最初に叫んだかわからない『萬歳／＼』の大怒濤、日の丸を力一ぱいにふり廻して、金榮敦も無中になつて萬歳を叫びました。お爺さんも後の方から盛んにわめいてゐる樣子。金榮敦は何もかもわからなくなつて、たゞ懸命に萬歳を叫び續けました。そして群衆の一隅から〃天に代りて〃の軍歌が叫び出されると、早くも列車は驛頭の合圖――と、この時です、窓から兩手を出して今まで萬歳を叫んでゐた■兵隊■さんの一人が、グッと手を伸ばして金榮敦の手を握りました

〃これはきみにやるんだよ〃

列車の動きで兵隊さんの手がもぎとられました、金榮敦は無意識でそれを握りしめました。またも起る萬歳の嵐、歡呼の聲波！兵隊さんの顔がだん／＼小さくなつて行きます

……★……

ぺつとりとついた汗に握つて金榮敦は爺さんと共に峠に立ちました

〃あの方向だよ兵隊さんの行つたのは、さう／＼金榮敦、さつき兵隊さんに戴いたのは何だつたい〃

〃封筒だよ、早く家へ歸つて開いて見ませう〃

金榮敦は早く開けて見たくなつて、とう／＼爺さんを捨てゝ走り出しました

……★……

〃只今。おや、お父さん歸つたの、僕これ兵隊さんから貰つたんだよ〃

〃なに、どれ／＼〃

封を切ると一枚の手紙、手紙と一緒に五圓の紙幣が飛び出したのでお父さんがまづ驚いた

〃お金ぢやないか、金榮敦、そりや大變だ、何、手紙に何と書いてある、早く讀んでくれ〃

金榮敦は燈の下に手紙を持つて行つて讀みあげました

〃僕はこれから戰爭に行く兵隊だ、戰爭に行くのだから生きて歸る積りはない。この僕達に一番うれしいのは朝鮮の君達少年の、熱誠こめた日の丸と萬歳だ、僕達は君らの熱心な聲援に泣く程嬉しい、君達も勉強して御國のために働くのだ、この錢は君にやる、飴玉でも買つてみんなで分けてくれ、戰地に行く兵隊にはお金はいらないのだから……。

……★……

しばらくみんな默つてゐました。■お父■さんの眼が涙で光りました。金榮敦は嬉しさと有難さで、たゞお父さんの顔を見つめるばかりです

〃永敦このお金はお前がとつとくや誇りだ、さうだ中川先生へ相談に行かう、すぐこれから行かう〃

二人は急いで外へ出ました、お母さんが後を追つて來て

〃これは御禮の辨當だよ〃大きな握りめし二つ

〃ね、お父さん、このお金に貯金して、みんなで働いたお金も貯めて、峠の上に國旗掲揚台をつくつたらいゝね〃

〃駄目々々、ともかく先生樣に相談してから〃

二人は月明の山道を急ぎました

途中藪ばたの■天下■大將軍の前を通る時

〃金榮敦、さあお祈りをしよう、兵隊さん達の無事を祈らう〃

とお父さんは頭を下げました、金榮敦もしばらく心を凝めて祈りを捧げました（終り）

―戰地で活躍する機關銃隊……

## 世界で最初の機關車

### 時速十二哩

英國のジョージ・スチブンソンが初めて汽車をつくつたことはご存じでせう。この寫眞がその最初につくられたもので『ロケット號』といはれ速力は一時間約十二哩、僅か九十噸しか引張る力がありません、これは英國に保存されてゐます

×

日本にはじめて機關車が[illegible]したのは明治三年で、東京の新橋から橫濱間を開通したのが明治五年です。それにしても現在世界一といはれる日本の鐵道技術は全くすばらしい發達をとげたものです

## 紙細工

### 馬と馬飼ひ　作り方

道化者のカーボーイと暴れの荒い牧馬を折り紙でこしらへませう

×

まづ頭と二つの手と足と四つの蹄を圖の通りに薄く紙を透して寫し取るかしなさい、紙は勿論厚紙を使はねばなりませんが、足だけは黑紙を使ひその外のは皆白紙を使ひませう

×

それから透き取つた部分にはあなた方の好きな色を塗つて下さい、頭二つは點線の上の部分を糊では り付け、點線の下は兩方に折つて分けておきなさい

×

それから子供の腕と胴と脚と馬の頸、胴を紙を折疊んで拵へませう

×

二つの紙片を圖（1）のやうな位置に置いて（イ）を（ロ）の上に重ね（ニ）を同じ場所の上に折り疊み、それから（ハ）を同じく同じ場所の上に重ねなさい

×

これを繰り返し圖のやうな腕や足が出來ます

×

これ等の色はあなた方の好きな色でもよいのですが次の樣な色を使つてはどうでせう、子供の胴は赤紙（幅一・二五寸長さ、一二・五寸）腕はやはり赤紙（幅5―8寸長さ十二寸）脚は白紙（幅7―8寸長さ十四寸）馬の胴は白紙（幅7―8寸長さ十八寸）脚は白紙（幅5―8寸長さ二十一寸）大體以上の色と寸法で拵へれば間違ひありません

×

これが出來ましたら子供の脚と足に貼り付けそれから胴に貼り付けます、手頸を點線のところから曲げて腕に貼り付けます、胴のてつぺんに幅二分の一寸長さ二・八分の赤紙を付けその兩端に兩腕を貼り付け、先に兩方に分けておいた頭についた頸の二つの部分を貼り付けると頭がまつすぐに立ちます

×

帽子の上黑點の所に穴を一つあけて糸を通して結びなさい、馬の胴は圖（2）に示す寸法の白い厚紙に卷きます、點線の部分から兩方に折つておきます、後の點の所に穴をあけて手で造へた尾をくつつけなさい、馬かけも布も圖のやうな寸法に切つて色を付けませう、手頸を點線のところから折つて胴につけなさい

今度は馬の脚に蹄を點線のところに貼り付け四脚を胴に貼り付けなさい、胴の前の方にある穴と後ろの穴に結んだ糸を通しこの糸で馬を提へ動かしてごらんなさい

アシ　ヒヅメ　カラダ　イ　ロ　ニ　ハ　ウマカケ・モウフ　I　II

## 當代一流 爭霸戰譜

第二局

平手　△四段　島村增喜
先　▲四段　奧野基芳

圖は△八六飛迄の局面

『持駒』△島村氏　歩

| | 九 | 八 | 七 | 六 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | △香 | △桂 | | △金 | | △王 | △銀 | △桂 | △香 |
| 二 | | | | △銀 | | | △金 | △角 | |
| 三 | △歩 | | △歩 | △歩 | | △歩 | | △歩 | △歩 |
| 四 | | | | | △歩 | | △歩 | | |
| 五 | | | | | | | | | |
| 六 | | △飛 | 歩 | | 歩 | | | 飛 | |
| 七 | 歩 | | | 歩 | | 歩 | 歩 | | 歩 |
| 八 | | 角 | 金 | | | 銀 | | | |
| 九 | 香 | 桂 | 銀 | 玉 | | 金 | | 桂 | 香 |

『持駒』▲奧野氏　歩歩

▲八七歩　△八四飛 19　▲五八金 12　△七四歩 4　▲五七銀 2　△五三銀　▲三六歩　△六四銀　▲六六歩 22　△七五歩

（持時間各七時間）累計（島村氏 三十一分　奧野氏 四十九分）

### 觀戰記

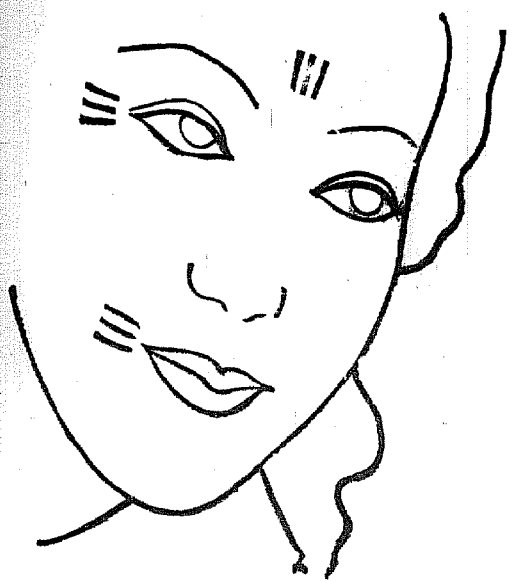
六段　飯塚勘一郎

# 強氣の八四飛
## 歩越し銀を咎めた六六歩

[illegible]先手は八七歩と敵の飛頭に叩きつけて、敵飛の退却を迫る、此場合後手が飛を八四へ引くか、それとも八二へ引くかは、殆んど考慮の余地のない處で、後手としては大抵の場合、八二飛が普通だ然し見よ、何んと云ふ強氣の戰法か、後手は茲で斷乎たる八四飛を用ひ、後手の作戰としては珍らしい強硬方針に出たこれでどうやら雲行が面白くなつて來た、島村氏が十九分の熟慮を拂つて、強氣の戰法に出た以上、そこに何等かの成算がなければならない、然も相手は名に負ふ『腕の奧野』だ、此の推移こそ萬般として興味の湧く處である。と、奧野氏は敵の氣勢を察して堅實な五八金を撰び、續く後手の七四歩に五七銀と繰り出した。後手五三銀の對抗は當然茲で五二金では三六歩、五三銀、四六銀と立たれて面白くない、先手三六歩は四六銀から三五歩、同歩、同銀の捌きと、三七桂と活用する順を見越して、後手の七四歩と同樣の意味合ではあるが、後手は茲で逸早く先手を打つて六四銀と攻勢に出た、即ち先手六六銀なら七三桂と跳ね、次ぎに四二銀と締め、七五歩、同歩、六五銀、同銀、同桂の攻擊を目論みてみるで敵銀壓迫の意味で先手は六六歩と突く、次ぎに先手六七金右と上れば、六五歩、同銀、六六歩と敵銀を只取りする順があるから、後手は六七金と上らせぬ前に攻勢の七五歩となつた

圖は島村後手が八六歩、同歩、同飛と捌いて出た處迄だつたが、本

# ホルモンでお顔が若く美しくなる！

小皺や皺を防ぐにはホルモンが絶對必要です！　今大評判のクラブ美身クリームをお使ひ下さい！　見違へる程美しい若肌になります！

## 二十歳以上の御婦人はぜひ御讀み下さい！

皮膚の表面にだけしか作用しない普通のクリーム類て、美しい若肌をお望みになるのは無理てす。なぜなら、皺や小皺や肌アレなどは皮膚の内部に榮養が缺乏する事から起るのですから…。徒って皮膚障害を除くには、肌の内部に豊富な榮養を與へ、同時にホルモンで細胞組織から鞏固にしなければなりません。それには……

### 皮膚の構造に御注意！

先づ次の皮膚斷面圖を御覧下さい！　二つの部分——つまり表皮と眞皮（血管のある所）に分れてゐるのでせう。皺が出來るのは、ホルモンの分泌が減少するにつれて新陳代謝が衰へるために、眞皮の部分に榮養が行き屆かなくなつて細胞組織が萎縮し、その結果表皮が縮んでくるからです。オヤ？いつの間に？　と、御自分でも知らない中にできる額や目尻や口元のしわも、よく考へれば科學的な現象ですから、これに對してはホルモンと榮養分を補給して皮膚の内部組織から科學的に改造してかゝらねばなりません。

### ホルモンとは何か？

所でホルモンとは？　それは余りにも女性の美と若さの原動力です。女性が女性らしい美しさになるのは、して卵胞ホルモン……つまり卵巣から分泌されて性機能の發動を促し、全身を健康にする最も重要なホルモンの作用です。所が二十歳を過ぎる頃から身體の内部では生理的にこの卵胞ホルモンの分泌が減少してきます。目には見えなくても、皮膚の内側ではもう小皺が待機の姿勢をとつており、それが三十……四十……とホルモンの分泌が衰へるにつれて、皺が表面に出て美しいお顔の肌をうすらいで行くのです。しかし御心配御無用！　科學の力で若返る事が出來るやうになりました。

### 綜合ホルモンは皮膚から吸收される！

それはホルモンを補給する事です。元來ホルモンには多くの種類があつて、その一つ一つよりも、一定の割合に綜合したものを補給するのが理想的です。その點クラブ化粧品に配合されてゐる綜合ホルモンこそ優秀なものであります。前に述べた卵胞ホルモンを主成分とし、更に女性の美と若さに深い關係をもつ腦下垂體前葉ホルモン、甲状腺ホルモン、植物性綜合ホルモンを配合した効力の強いホルモンです。しかも誇るべき事は、この綜合ホルモンが皮膚から吸收されて、内服、注射に匹敵する科學的な若返り効果をもつ事が動物實驗によつて證明されてゐる事です。（左欄表參照）所で皆様！　この綜合ホルモンを配合した優秀な若返り榮養クリームがクラブ美身クリームなのです。

### 普通のクリームとどこがちがふ？

綜合ホルモン配合のクラブ美身クリームは、從來の皮膚の表面だけしか作用しない普通クリーム類とは非常にちがひます。なぜなら、豐富な榮養や綜合ホルモンが皮膚から能く吸收されて、皮膚の内部に細胞組織から積極的にするすぐれた性能をもつてゐますから……。從つて皺、小皺の豫防に或は解消に、普通のクリーム類とは違ひ、著しい効果があるのです。同時に皮下に豐富な榮養を蓄へますから抵抗力が強くなり日ヤケ止めの最も根本的な手當になります。尚、強い殺菌清浄作用のためにソバカス、ニキビを防ぎ白百合の花びらのやうな美しい素肌になるのです。白粉下さしてもこれ以上のものはありません。皆様！　こんな良いクリームが他にありますか？　クリームならば斷然クラブ美身クリームに決めませう！

三〇セン・四〇セン・五〇セン・八〇セン

★　★　★

又、特に皺やたるみ、ソバカス、シミ、ニキビでお惱みの方は藥用クラブ美身クリームをお試し下さい。綜合ホルモンを強度に配合した強力若返りクリームです。その作用が早くて著しいので、これこそホルモンクリームの最高標準品だと、美容の大家や皮膚科の權威が推奨されてゐます。

（一圓五〇セン）

**綜合ホルモンは皮膚から吸收される！**

内服・塗布・注射（各十日一回五〇單位宛十三日間）に依つて實驗せる幼若テツテ（鼠の一種）の子宮姿育重量比較表

注射　塗布　内服

まるで白百合の花びらのやうだ……と入江たか子さんは肌が美しいので評判ですが、流石はクラブ美身クリーム愛用の熱心なフアンだけあつて……

# ホルモン配合榮養クリーム　クラブ美身クリーム

綜合ホルモン配合　クラブ美身クリーム　三〇セン・四〇セン・五〇セン・八〇セン

綜合ホルモン強度配合　藥用クラブ美身クリーム　一圓五〇セン

# 炎焼しつゝある天津の敵陣地

我京行機の爆撃により炎焼しつゝある天津保安隊本部、警察司令部市政府等敵の重要陣地（廿九日午後〇時天津上空にて）

# 戰友の家に寄する勇士の心情尊し

## 『戰する身に金はいらぬ』と 虎の子を全部献金

暴戻支那を討つべく鹿軍〇〇部隊の一等兵大津朋忠君は銃後の熱誠に感激し、午前八時〇〇兵分隊に車中で認めた感謝の手紙と金五圓を差出し『この手紙を隊長殿に渡して下さい、戰争に行く私にはお金は入りません、この金は僅かです、手紙にも書いてありますが、出征兵士を出した家族の内で、困つてゐる人に上げて下さい、頼みます』と云ひ捨てたまゝ元氣好く〇〇に向つて出發した　天津一等兵の手紙を一緒に讀み終つた大石憲兵分隊長は

「列車中で認めたらしい、文章は拙いが、自分を犠牲にして、戰友の家族を氣づかつてやるその心構へは實に見上げたものだ大津君の貴い贈物は早速大津君の原隊へ送金し、清い志を傳へませう」

と感激に堪へない面持ちで語つた大津一等兵から憲兵隊長に宛てた手紙は次の如く、一言一句に忠と愛の尊い氣持が溢れてゐる（原文のまゝ）

憲兵隊長殿

御多用中甚だ恐入りますが出征兵士中留守宅の家族の生活に困り居る方もある事と思ひます、出征兵士の之の二重の苦しみを少しでも少くして軍務に着かせて上げたく思ひます、隊長殿眞實に御多用中申譯ないと思ひますが我等出征軍人の中に一人でもこの苦の爲め十分働きが出來ぬ者があつては、國家に又戰友に申譯なく思ひます、私は何も心配になるとは幸にありません故自分の俸給と無駄をはぶきまして出來た金五圓、甚だ少々で何の役にたつとは思へませんが自分の心だけを御くみ下され、御手數を下されますればこれ以上なき幸ひと思ひます、何卒々々御手數恐れ入りますが何分共宜敷く御願ひ致します、汽車進行中に書きましたので字の不明、かくれて書く故文もわかりにくいと思ひますが御はんじ下被度何卒々々御願ひ申上げます、隊長殿にも何卒御身體御大切に遊ばさるゝ樣御願ひ致します

〇〇隊、大津朋忠

## いぢらしい兄弟へ 千人針の腹巻贈る

### 朝鮮軍刑務所官舍の我妻夫人

京城南山町三の十一番地重本功榮治君(?)と那之君(?)この幼い兄弟が出征したお父さんのために病床のお母さんに代つて〃千人針〃を求めてゐる涙ぐましい本紙の記事に胸を打たれた京城朝鮮軍刑務所官舍一號の我妻淳三郎氏夫人むつ子さんは卅一日午後三時龍山憲兵分隊を訪れ「今朝の京城日報に掲載されてゐた〃千人針の兄弟〃の記事を讀んで泣かされました之はつまらない物ですけど兄弟に上げて下さい」と千人針の腹巻を差出した、同分隊も我妻夫人の優しい氣持に感銘し、この旨を本社に通じて來たので、本社では直ちに重本さんの家に屆けたが、病める婦女は感涙にむせんでゐた

## この工場主　この女工

銀紙七百三十瓦を同じく献納した京畿道安城郡陽城面楽山里閔詠錫君(?)は同郡當局の振興策にもと梅里製絲工場を經營して來たが北支の風雲急迫するや、閔君は卅六名の女工さん達を集めて日日の新聞を示して正しき認識を吹き込み皇軍の奮闘を語つたところ女工さん達は何れも感激、各自僅かな月給から廿圓五十錢を集め皇軍慰問金にと差出したので同君もこれに感激し、自分の金五十圓を足し計七十圓五十錢を卅日同地へ出張した京畿道産業課矢澤技師に傳達方を依頼した

## 皇軍思へば〃長はん〃どころか　殊勝な藝妓の献金

京城旭町二丁目上ね田中の藝妓多美輪さんは『林長二郎の實演をみておいで』と貰つた小遣ひに自分の小遣ひを足して「この非常時に長はんの實演見物など兵隊さんにすまなくて出來ませんわ」と卅一日朝卅圓を京城憲兵分隊へ献金、感心な藝者の心意氣に隊員を感激させた、又西四軒町番京内の半玉さん笠井和子さんは仲居の千代、おたまさんの三人でためた銀紙約三瓩にお小遣ひ八圓を添へて同様國防献金、大和町一ノ一〇浪花樓内白川輝子さんは根氣よく溜めた

## 高射機關銃を　地主さん献金

京城水下町三〇地主金田集氏は、「京城の空の護りのために」七百五十圓を投げ出して、本町署を通じて朝鮮軍愛國部に高射機關銃一臺献納の手續きをとつた

### 銃後の花束

◇京城府本町三丁目高崎妙照師は北支事變勃發以來、府内を皇軍の武運長久を祈念しながら托鉢をして集つた淨財六圓四十五錢に自分の貯金四十圓を添へ三十日朝鮮軍愛國部に出頭して防空器材費として献納した

◇笠井町十一番地本田君枝さんは金十圓を同じく防空器材費として献納し更に「私達は北支に戰ふ皇軍の奮闘に感激してゐます私の兄は二人共病身で御國のために働くことが出來ないのは殘念です、私はその代りにせめて傷ついた勇士のために捧げて上げたいと思ひます」と志願看護婦を志願した

◇京畿道富川郡富平邑の愛婦會員福井よしさん他二名も皇軍將兵を些かなりとも慰めたいとて眞綿入り腹巻百個、越中褌百本を三十圓軍司令部愛國部に持參して「この腹巻もこの褌もみな會員が一針々々眞心をこめてつくつたものです」と傳達を依頼し更に防空器材費として百一圓十一錢を献納した

◇忠南燕岐小賣人協會鳥致院支部長大木眞雄氏は會員一同の醵金五十六圓八十錢を防空器材費として三十日愛國部に献納した

## 李範益氏外五名を 滿洲國に任命　治外法權撤廢に處す

鮮滿一如の精神と治外法權撤廢後における在滿百萬朝鮮人同胞の將來の指導の爲本府は滿洲國及び關東軍と折衝の結果、李範益氏外五氏を滿洲國に入らしめることに大體の決定を見たがこの外に滿洲國中堅官吏として登用せしむること となり本秋治外法權の全面的撤廢により更に官吏教員多數を送ること、なり目下人選中である

### 防毒面を共同購入

敵機襲來に備へて龍山陸軍村の人々は他に率先して、陸軍科學研究所指導による十二年型防毒面（價格二圓）をそれぞれ購入することになつたが、一般の希望者は東京丸の内丸ビル二階昭和化工商社へ直接申込まれたいと

## 皇軍の奮闘を偲ぶ總督

### 銀幕に躍る北支事變　本社のニュースを觀覽

戰雲急を告ぐ北支事變の推移に最も重大な關心を寄せてゐる南總督は本府各局課長と共に三十一日午後二時から特に本社の京城日報北支事變ニュース三卷を、本府の映畫室で觀覽した、總督はあの閉めこんだ映寫室の蒸し暑さの中に、白詰襟のボタンも外さず身じろぎもせずに滲む汗を拭はうともせず、ジッと廊坊、天津と擴大して行く事變の展開に見入り皇軍の將士が戰場を馳驅する勇姿を感激を見ると流石に陸軍大將として、また日露戰の昔にも甦つて壯烈慘苦を想ひ浮べるやうに洩らし、闇中に挿入された特別奉迎開通式に行幸遊ばされた天皇陛下の御尊影の場面になるや端然と姿勢を正し、終始感興深げに觀覽し午後二時四十五分映寫を終るまで熱心に見入つた（寫眞は本社ニュースを見る總督）



## 前科者の悲哀 再び〃惡〃へ轉落

### 自轉車の積荷專門に稼ぐ

全北生れ前科一犯金泰鎭(二二)は去る五月金泉刑務所を出たばかりであるが出城して職を求めても前科者の悲しさ、空腹にたまりかねて去る三日午後四時東大門内四齋藤ビル前で帝野洗布所の自轉車に積んであつた洋服を盗み入質した外、本町二村木時計店前で同店の自轉車に積んであつた柱時計その他を窃取、自轉車の積荷專門の窃盜十件を働き三十日夜本町署に逮捕された

## 愛兒を絞殺して 若き母親投身自殺　二人とも晴着姿で

【大田電話】卅日夕刻忠南扶餘郡窺岩面窺岩里富田大吉氏(三〇)の妻きみゑ(二五)さんは去る六月十五日に生れた長女美佐子さん＝何れも假名＝を自宅寢室でタオルを以て頸部を締め殺した後、自らも自宅裏の井戸に飛び込み自殺を遂げたきみゑさんは江景で食堂を營む中村小太郎氏＝假名＝の長女で大田高女卒業後、昨年五月富田氏に嫁し以來家庭は圓滿であり、この慘事の原因は謎とされてゐるが、美佐子さんの亡骸には晴着を被せてあり自らも晴着に着かへてゐるので覺悟の自殺と見られる

## 僞署員薩摩守

京城鍾路町六六白昌欽(二五)は卅一日午前六時頃某旅館前で京電一二八號から西大門署員だと稱し車賃を拂はずに下車するところを西大門署員に捕つた

## 京畿金組理事異動

| 任 | 免 | 舊職 | 氏 | 名 |
|---|---|---|---|---|
| 免本職 | | 松坡 | 石田 | 常義 |
| 兼松坡 | | 京安 | 服部 | 雅 |
| 免本職 | | 朱安 | 菊竹 | 一誠 |
| 朱安 | | 水原 | 赤木 | 直技 |
| 水原 | | 松都 | 靑木 | 貞介 |
| 松都 | | 烏山第二 | 川畑 | 周雄 |
| 烏山第二 | | 長湖院 | 嶋田 | 知巳 |
| 長湖院 | | | 鈴鹿 | 誠喜 |
| 免兼職 | | 汶山兼金村 | 林 | 徹信 |
| 金村 | | 富平 | 林 | 鐵寬 |
| 富平 | | | 大塚 | 正一 |

## 立教野球部入城

滿洲遠征中の立教大學野球部は安東から一日午前十時半入城、不知火旅館で休憩の後歸東の豫定

## 鐵道婦人會生る　＝戰場や職場に働く職員や家族をいたはり勵ます會＝

鐵道局職員の夫人連約一千名が、吉田局長夫人を會長として鐵道婦人會を組織することになつた、この會はひろく皇軍の慰問を始め、今度の事變により、また不眠不休で從業中の職員が活動してゐる勞を偲ぶための諸種の企てを行ふ事銃後婦人の任務を完うすることを目的とするものである

## デマを飛ばす者　漣川、西大門兩署に拘留

今回の北支事變に際し根も葉もない無根の事實をさもあるかの如く流言蜚語を飛ばし無智なる人々を迷はす者は前項の如く嚴重取締つてゐるが京畿道漣川署管内に一名と西大門署管内に一名計二名の馬鹿者が現れあられもない、流言蜚語を飛ばして歩いてゐた事が兩署に探知され、數日前それぞれ檢擧拘留、廿九日といふ極刑に處分され、血祭りにあげられた京畿道高等課では今後は一層嚴重に處する方針であるから一般民衆は落付いて正しき認識を深め各自その本分を盡すやう希望してゐる

## 高等主任會議

京畿道警察部高等課では卅一日午後一時から道會議室に京城府内各署仁川、水原、開城等高等主任會議を召集、高警察部長の訓示について阿部外事警察課長はじめ中村高等課長から希望事項を述べ各署密接な聯絡のもとに取締りの強化を計り重大時局に處する事にたつたした

## 大相撲　初日の勝負

沸き返るやうな人氣の裡に盛をあげた東京大相撲の初日（卅一日）は正午　早くも本塁番、新參番、雙葉山後援會その他學生團體の見物があつて盛況、午後三時半南總督は近藤秘書官を帶同して正面桟敷に陣取り熱心に觀戰した、五時半ごろ猛烈な驟雨が襲ひ六千と云はれる觀衆がヅブ濡れとなつたが一人の退場者もなく、殊に南總督は終始も姿させず熱心に最後まで觀戰した、中入後の勝負は次の通り

（寫眞は觀戰中の總督＝中央白服）

| 勝 | | 負 |
|---|---|---|
| 小島川 | （より切り） | 小松山 |
| 源氏山 | （押し出し） | 富野山 |
| 大浪 | （下手投げ） | 番神山 |
| 星甲 | （浴せ倒し） | 金湊 |
| 楯甲 | （より切り） | 三船山 |
| 羽黒山 | （引き落し） | 巴潟 |
| 名寄岩 | （下手投げ） | 玉の海 |
| 海光山 | （吊り出し） | 旭川 |
| 清水川 | （上手投げ） | 桂川 |
| 双葉山 | （より出し） | 幡瀬川 |
| 玉錦 | （より切り） | 磐石 |

（打出し六時五十分）

### 勸進元恐縮

驟雨のため多くの人々を濡れ鼠とした勸進元及び相撲協會では恐縮して語る

『天災とは云ひながら觀客各位にご迷惑をかけたとは何共お詫びの申上げやうもありません、此つぐなひとして相撲協會とも相談の上、殘りの四日間は盛り澤山の番外相撲を出すことにいたしたいと思ひますが取敢ず貴紙を通じ各位によろしくお傳へを願ひます』

### 二日目取組

| | |
|---|---|
| （鏡里山）小島川 | （源氏山）八幡嶺 |
| （羽黒山）番神山 | （大浪）三船山 |
| （楯甲）金湊 | （磐石）玉ノ海 |
| （名寄岩）清水川 | （玉錦）桂川 |
| （小松山）富野山 | （星甲）巴潟 |
| （旭川）幡瀬川 | （双葉山）海光山 |

## 北支事變 京日發聲ニュース

第一報より第四報まで　今夕八時半、仁川神社境内廣場で無料公開

## 仁川・觀測所の京城移轉本極まり　明年度豫算に計上

多年の懸案であつた仁川所在觀測所の京城移轉問題は愈よ具體化し、總督府遞信局でもこの意見が濃厚となり本府學務局では研究調査をなし慎重を期してゐたが、今日の航空事業の發達の上から中央に移すことは避くることの出來ない状態になつたので、明年度豫算にこれを要求して直に實現を期することゝなつた移轉が實現すれば現在の京城測候所を更に擴大強化して仁川觀測所をこれに移轉し京城測候所を仁川觀測所の廳舍に移轉せしめることゝなる模様である

多難なる支那の無反省は遂に正義日本の最後の緒を切り全面的衝突の悲喝となり時局愈よ重大化するや、街には無智なる者を中心に流言蜚語を逞しうするものがあるので既報の如く警務局では各道に命を出しこれが嚴重取締りつてゐる

☆……『赤い夕陽』はセンチで淋しくないかと京城黄金町三ノ三三八、五十嵐博三郎さんは自作の歌詞に自ら作曲した『皇軍を送る歌』を携へて廿九日本社を訪れ、得意の喉で勇ましく歌つて見せた

☆……『人類正義の榮光を實現せん』と歌ひ起して『まするをよ、一億國民あとにあり、ゆきませ捷ちませ皇軍よ』四、進軍しませ赤心一致ゆるぎたき、

☆……銃後の熱誠を盛り込んだところがミソ、譜の欲しい方は同氏に申込まれるがよい

☆……私の内には青年の老躯（八十四歳）がゐます、千人針の必要の方は何時でもおいで下さい　京城堤井町一丁目七三伊勢田（投書）



### 株式會社 安田銀行　第二十八期末貸借對照表
（昭和十二年六月三十日現在）

| 資産之部 | 円 |
|---|---|
| 現金預ケ金勘定 | 97,992,392.42 |
| コールローン | 26,870,000.00 |
| 有價證券勘定 | 314,290,876.51 |
| 割引手形勘定 | 120,724,778.95 |
| 貸付金勘定 | 623,856,234.30 |
| 貸付有價證券 | 11,262,089.80 |
| 外國爲替勘定 | 13,319,222.42 |
| 他店貸 | 8,633,293.89 |
| 支拂承諾見返 | 13,434,572.06 |
| 雜勘定 | 616,411.48 |
| 動産不動産勘定 | 14,936,885.21 |
| 拂込未濟資本金 | 57,250,000.00 |
| 合計 | 1,304,686,777.64 |

| 負債之部 | 円 |
|---|---|
| 預金勘定 | 1,023,273,195.57 |
| 外國爲替勘定 | 906,317.86 |
| 他店借 | 21,219,572.37 |
| 未拂送金爲替 | 3,290,582.40 |
| 支拂承諾 | 13,434,572.06 |
| 雜勘定 | 12,376,718.24 |
| 資本金 | 150,000,000.00 |
| 法定準備金 | 45,500,000.00 |
| 別途積立金 | 24,000,000.00 |
| 行員退職手當基金 | 1,277,108.43 |
| 當期利益金 | 9,408,710.71 |
| （内前期繰越金 | 4,437,901.33） |
| （行員退職手當基金繰入 | 236,847.00） |
| 合計 | 1,304,686,777.64 |

| 利益金勘定 | 円 |
|---|---|
| 當期利益金 | 9,408,710.71 |
| 之ヲ處分スルコト次ノ如シ | |
| 法定準備金 | 1,000,000.00 |
| 行員退職手當基金 | 450,000.00 |
| 役員賞與金 | 100,000.00 |
| 配當金（年七分） | 3,246,250.00 |
| 後期繰越金 | 4,612,460.71 |

取締役頭取　安田一

### 株式會社 第一銀行　第八拾貳期貸借對照表
（昭和拾貳年六月參拾日現在）

| 負債 | |
|---|---|
| 定期預金 | [illegible] |
| 當座預金 | [illegible] |
| 通知及特別預金 | [illegible] |
| 當座預金 | [illegible] |
| 外國爲替勘定 | [illegible] |
| 他店借 | [illegible] |
| 支拂承諾 | [illegible] |
| 未拂利息未經過利息 | [illegible] |
| 過年度割引料等 | [illegible] |
| 資本金 | [illegible] |
| 法定準備金 | [illegible] |
| 諸積立金 | [illegible] |
| 當期利益金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 資産 | |
|---|---|
| 現金及預ケ金勘定 | [illegible] |
| コールローン | [illegible] |
| 有價證券勘定 | [illegible] |
| 割引手形勘定 | [illegible] |
| 貸付金勘定 | [illegible] |
| 貸付有價證券勘定 | [illegible] |
| 外國爲替勘定 | [illegible] |
| 他店貸 | [illegible] |
| 支拂承諾見返 | [illegible] |
| 不動産勘定 | [illegible] |
| 動産勘定 | [illegible] |
| 雜勘定 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 利益金處分 | |
|---|---|
| 別途準備金 | 一,000,000.00 |
| 行員恩給及退職給與基金 | 四五〇,000.00 |
| 重役賞與金 | 一〇〇,000.00 |
| 配當金（年八分） | 三,二〇〇,〇〇〇.〇〇 |
| 後期繰越金 | [illegible] |

昭和拾貳年七月　東京市麹町區丸ノ内壹丁目壹番地
株式會社 第一銀行

| | |
|---|---|
| 取締役頭取 | 明石照男 |
| 常務取締役（子爵） | 澁澤敬三 |
| 常務取締役 | 田中二郎 |
| 常務取締役 | 尾上登太郎 |
| 常務取締役 | 佐々木修二郎 |
| 取締役 | 石井健吾 |
| 取締役 | 杉田富 |
| 取締役 | 小平省三 |
| 監査役 | 大澤佳郎 |
| 監査役 | 野口弘毅 |
| 監査役 | 永井啓 |

監査役大澤佳郎、野口弘毅兩氏任期滿了ノ處再選重任セリ

### 第五期貸借對照表
（昭和十二年六月三十日現在）

| 資産ノ部 | |
|---|---|
| 拂込未濟資本金 | [illegible] |
| 鑛山 | [illegible] |
| 土地建物 | [illegible] |
| 機械什器 | [illegible] |
| 設備 | [illegible] |
| 起業支出 | [illegible] |
| 有價證券 | [illegible] |
| 各所 | [illegible] |
| 當座預金 | [illegible] |
| 振替貯金 | [illegible] |
| 貸付金 | [illegible] |
| 材料品 | [illegible] |
| 製品 | [illegible] |
| 半製品 | [illegible] |
| 買鑛 | [illegible] |
| 貯藏品 | [illegible] |
| 假拂金 | [illegible] |
| 拂出契約保證金 | [illegible] |
| 現金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 負債ノ部 | |
|---|---|
| 資本金 | [illegible] |
| 法定積立金 | [illegible] |
| 前期繰越金 | [illegible] |
| 未拂配當金 | [illegible] |
| 職員身元保證金 | [illegible] |
| 受入契約保證金 | [illegible] |
| 借入金 | [illegible] |
| 假受金 | [illegible] |
| 當期純益金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 第五期損益計算書 | |
|---|---|
| 利益金ノ部 | |
| 鑛石代 | [illegible] |
| 製品及半製品 | [illegible] |
| 雜收入 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |
| 損失金ノ部 | |
| 事務費及事業費 | [illegible] |
| 起業費償却金 | [illegible] |
| 當期純益金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 利益金分配案 | |
|---|---|
| 當期純益金 | 貳拾壹萬五千八百貳[illegible] |
| 前期繰越金 | 拾九圓[illegible] |
| 合計 | [illegible] |
| 内 | |
| 法定積立金 | 壹萬五千圓 |
| 退職給與基金 | 壹萬五千圓 |
| 株主配當金（年八分） | [illegible] |
| 役員賞與金 | 七千圓 |
| 後期繰越金 | [illegible] |

右ノ通リニ候也
昭和拾貳年七月參拾壹日
朝鮮製錬株式會社

### 第二十七期營業報告
貸借對照表（昭和十二年六月三十日現在）

| 資産 | |
|---|---|
| 現金預ケ金勘定 | [illegible] |
| 無盡勘定 | [illegible] |
| 給付未濟口 | [illegible] |
| 給付無盡未濟口 | [illegible] |
| 無盡給付金貸付口 | [illegible] |
| 貸付金勘定 | [illegible] |
| 不動産擔保貸付金 | [illegible] |
| 掛込金擔保貸付金 | [illegible] |
| 契約給付金 | [illegible] |
| 假拂金 | [illegible] |
| 土地建物什器 | [illegible] |
| 株主勘定 | [illegible] |
| 拂込未濟資本金 | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

| 負債 | |
|---|---|
| 無盡勘定 | [illegible] |
| 未拂無盡給付金 | [illegible] |
| （無盡給付金未拂） | [illegible] |
| 未拂入札差金 | [illegible] |
| 未拂解約返戻金 | [illegible] |
| 無盡給付資金 | [illegible] |
| 掛込金擔保金 | [illegible] |
| 期限未經過掛金 | [illegible] |
| 假受金 | [illegible] |
| 社員身元保證金 | [illegible] |
| 株主勘定 | |
| 資本金 | [illegible] |
| 法定積立金 | [illegible] |
| 準備積立金 | [illegible] |
| 營業所新築積立金 | [illegible] |
| 退職給與積立金 | [illegible] |
| 株主配當積立金 | [illegible] |
| 當期利益金 | [illegible] |
| （内前期繰越金） | [illegible] |
| 合計 | [illegible] |

右之通リニ候也
昭和十二年七月二十[illegible]日
興業無盡株式會社

# 白き手の人々 〔115〕

吉屋信子 作　一木彈 繪

**立ち上る者**（十九）

庸二は補商金澤の豪奢家の邸宅を訪れると、直ぐ三郎の部屋へ通されて、暫く待たされた。

卓の上の大きな地球儀、その向ふの壁にかかつてゐるナポレオンの肖像の額を眺めながら、そこに少年らしい空想を持つてゐるらしい、ここの主であらう少年の姿を想像して少し面白くなつてゐた、やがて、扉が開き、

『やあ、お待たせしました』

と、松葉杖をついて、三郎が現れた。

病身らしい蒼ざめた顔、脚の不自由な姿、だが、その瞳には、年齢には勝つた深い意志が溢えてゐるかのやうだつた。

『手紙を上げたのは僕です、早速來て戴いて恐縮でした』

三郎は、貴族的の品位を身に備へて、籐の車椅子に身體を置いた。

松葉杖がぱたんと、床に倒れた、庸二は素早く、それを拾ひ取つて椅子にもたせかけた。

『貴方、學資にお困りなのですか？』

三郎が、やがて、大人びた口調で聞いた。

『さうです』

庸二が淡白に答へた、そして、庸二は此の若い青年に何か親愛な感じを持つた、我が期待したよりは年齢も老けて、しつかりしてゐるらしかつた。

『僕は學校には不自由しない、いくらでも學校はやれるのですが、こんな身體を厭ひがいたはり過ぎて、こんな箱入息子にしてしまつたのです、僕は自分の頭腦をさう劣等だとは卑下出來ないんです、何か、やつてみたくなつたんです』

『さうです、貴方のお讀みになる劇本を一寸眺めたのですが、随分

機械や、物理化學に興味をお持ちのやうですね』

庸二はお世辭でなしに、さう言つた。

『いや、本を讀むだけでは何にもなりません、僕は、親から離られた、資本があるのです、何か事業をやつてみたいと思ふのです、今迄では、その夢だけを抱いてゐたに過ぎませんが、今度こそ、はつきり、實現に向つて進まうと思ひ立つたのです、それに就いては、僕は今迄、中學の

課程を家庭教師について學んだだけなのです、が、これからは、小さいながら工場主とか、事業の經營者としての知識を欲へて戴い度いのです、貴方はそれをして下さるでせうか』

三郎の言葉は眞摯で飾りけがな

く鋭眞に庸二の胸を打つた。

『勿論、喜んで、僕が大學で學び得た知識だけは、貴方に傳へてゆけると思ひます、只不幸な事に、僕は講義を聞いただけで、何一つ自分で、實際の經驗を持つてはゐませんが——』

庸二の答へる言葉も眞摯で、熱意があつた。

『それで好いんです、僕は他人の經驗を土臺にして他人のした事を二度しやうとは思ひません、——譬へば、僕は郊外に理想的の小さい工場を建てる、出來るだけ好い設備をした職工の住宅を建てる、職工の倶樂部を建てる、そして工場で得た利益は、資本家も職員も職工も、それぐ\ 勝利の上で、分割配當する——こんな事は机上の空論かも知れない、が、僕が巨萬の富をそれから擠り上げやうとしなければ半分位の可能性はあるでせう、僕はともかく親から讓り受けた財産があるのですから、これ以上の富を獲やうとはしない、その富を利用して澤山の人に職を與へ

生活を保證し、世の中にも何か貢獻したい、さしづめ、僕が計畫してゐるのはそんな事業です、そのよき助言者、指導者として、僕を育て上げて臭れる、よき伴侶が居たいのです、貴方が進んでその位置に立つて下さるならと僕は來て頂いたのですが』

## 京日特選棋譜（11）

五段 小澤了正
先 四段 松浦秀治

白百二十六より百三十八迄

### 實益で明朗化　覆面道人

**本日の序幕**

昨日の黒百二十五は、本日の白百二十六のすぐ上の黒丸で、その黒の手は（い）と、（い）の右の

**妖雲を掃ふ萬全策**

そして白百廿八は、その上の黒子白丸一取り待望である。故に白百二十六と劫を取り、黒百二十七は劫立て、以上が本日の序幕である

丸一子を取つて、劫争も解消し、殊に實收も多分に盛られてゐるとて大いに明朗である。若しその劫争を白が續行だと、黒が劫を斷つ（い）を（ろ）と強硬の際に、即ち其處の全盤の白に妖雲が低迷し、白は萬全を期したのである

**輕く受流しても萬歳**

なほ白百廿八は、次に黒が味方の左右合盤に、黒百廿九は必要でその時白は百三十の好點に據つて確乎大勢把握の萬歳……又、次に黒百三十一の、鋭い侵入軍にも、白は以下白百三十八迄と、輕く受流し此時も白は萬歳……。以上が實に萬全を期した白の冴えた手腕である。と道人は小澤五段禮讃。

**黒の赤字**

それは白百三十八となつて、その一帯の白地は四十目。又右側の白地も二十目。なほ中央の白地は（は）は既に十目。その白地合計七十目に對し、右上隅の黒は既に全盤の黒地四十目强で、右上隅を黒（に）と固めて、黒地二十目と黒の赤字は以上概算だが十目近い。だから黒は目下何とか好展開を求めて思案してゐる

## ラヂオのプロ

### 一日（日）

**第一放送**

午前六時（東）ラヂオ體操
一、君が代　二、講演 國民心身鍛錬運動とラヂオ體操の會　文部大臣 安井英二　三、ラヂオ體操—ツ橋國民體育館より
同六時二五分（東）全國ニュース
同七時 今日の天氣見込
同七時一分（名）夏の小鳥
同七時二〇分（東）ラヂオ體操 滿津みなと祭觀艦式實況（滿津）滿津港貿易場頭より
同八時 アナウンサー 西山力
同九時二〇分（城）氣象通報（滿津はローカル）
同九時三〇分（東）管絃樂（解説付）日本放送交響樂團
組曲「コーカサスの風景」一、山にて 二、村にて 三、寺院にて 四、酋長の行列　伴奏 大塚淳
同一〇時（京）日曜勤行—京都眞宗佛光寺派本山佛光寺宸殿より中繼—
一、勤行 夏安居開筵式　導師 管長 澁谷隆教 以下一山僧衆出仕
二、法話 夏安居の話　執行長 佐々木惠璋
同一〇時四〇分（東）講演 日本古來の赤十字精神　醫學博士 山崎佐助
同一一時一〇分（大）海外市況
同一一時二〇分（京）趣味講演 世界の急行列車を語る　工學博士 瀧山與
正午（東）時報
午後零時三〇分 ニュース
同零時五〇分（東）ラヂオ體操
同一時（東）野球試合 第十一回都市對抗（雨天順延）野球中止の場合は左の三種目
同一時（東）和洋合奏 ミタニ和洋合奏團
同一時三〇分（東）新人の午後謠曲、民謠、浪花節、義太夫
同二時五〇分（東）謠歌 三國峠の血達り　神田伯治
同四時 ニュース（氣象通報・釜山・淸津）
同四時二〇分 東京大相撲實況二日目（第二放送・京城）明治町一丁目相撲場より
同六時 產業ニュース
同六時三〇分（東）お話 あの姿あの姿　久留島武彥
同六時五八分（東）音のなぞなぞ
同七時 ニュース・天氣見込

**心身鍛錬の夕**

同七時三〇分（天津より）講演 國民に對する挨拶　支那駐屯軍司令官 香月淸司
同八時（名古屋）ラヂオ體操體驗一「吾等のラヂオ體操の會を語る」
（熊本）水上英雄
（松江）飯島武雄
（大阪）讀來正信
（名古屋）山田榮之助
（東京）海野寅男
（仙臺）海藤邦夫
（札幌）小泊キヨ
同八時三〇分（東）國民歌謠 獨唱 德山璉　伴奏 AKアンサンブル　山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ　保健運動讃歌 獨唱 德山璉
同八時四〇分（東）吹奏樂 皇軍吹奏樂團　（イ）軍歌集其一（ロ）軍艦行進曲（ハ）軍歌集其二　指揮 辻順治
同八時五五分（東）ラヂオドラマ 兄さんの體操　藤尾純太郎作　演出 藤尾純　清川玉枝　今泉ヒロシ外　聰初純太郎
同九時三〇分（東）時報・ニュース・ニュース解説・今月の天候案內
瑞西獨立祭慶祝音樂國際放送
同一〇時（ジエネーヴより）瑞西民謠
同一〇時二〇分（東）（東京より）芙蓉曲と三絃主奏樂
（一）芙蓉曲（イ）海は朝凪（ロ）鉛筆しぐれ（ハ）博多山笠（ニ）船唄（ホ）櫻をどり（三）三絃主奏樂 數へ唄變奏曲
唄 杵屋増十外　三絃 杵屋仕之助　第一絃 杵屋佐助外　指揮 杵屋佐之助

**第二放送**

午後零時五〇分 映畫物語 孫相譽
同一時二〇分（平）第二回京平對抗水上競技大會實況
同四時 ニュースに引續き東京大相撲實況

### あすの聞き物　二日（月）

午前一〇時三〇分（東）婦人の時間
正午（東）時報
午後四時 ニュース（氣象通報・釜山・淸津）
同四時二〇分 東京大相撲
同六時（ホ）天然記念物めぐり
同六時三〇分（大）座談會 水の見方を語る
同七時三〇分（東）新日本音樂
同八時（東）第七回世界教育會議第一回總會實況
同八時三〇分（靜東）水十夜（第一夜）（靜岡・東京）
同八時四〇分（東）マンドリン合奏　指揮 武井守成
同六時三〇分 相撲實況
同六時三〇分 童謠とハーモニカ　MKM研音會
同六時五五分 修養講話 韓圭復
同八時 西道立唱 金蘭香
同八時一五分 トーキーシナリオ 映畫劇研究會
同九時五分 歌詞 文明創
同一〇時 南鮮民謠 鄭栩色

### ラヂオ　心・身・鍛・錬・の・夕（六・五五）

## 兄さんの體操

藤尾純外

階下では勇ましくほがらかに、蓄音器を立てゝゐる。そこに從妹の靖子さんが現はれて、ね坊、武坊の涼しい空氣の中に、ラヂオ體操のメロディー、かけ聲が響いてゐる上起きろ／＼と促す、靖子さんといふのに、この八代家の二階のいふのは夏休みだといふのに田舍の一間では、長男の武君がまだ／＼目をも醒めず、百米を十秒五くらゐで走つて、オリムピックの東京大會には是非出場しようと志を立てゝゐる或る醫齒學校の生徒である。そ、ラヂオ體操のために起さうとしても起きしぶる武君を是非たたき起こさうと應援に加はるのが弟の晃君、これは兄貴とちがつて毎朝ラヂオ體操をやつてゐるので健康そのもの、さうするうちにお母さんも起こすために應援に加はつたりして武君は仕方なく起きはするもののラヂオ體操なるものにどうしても好意ある批評を下さぬ、それだのに起る朝の武君はといへば誰れも起きないのにキチンと起きあがり從妹、弟に率先して一チ、ニイ、サン、四イとやりはじめるのだがサテサテこれはどうしたことだ。これには深い譯のあること、武君に縁談が舞ひこで湧いた、結婚前の青年、それは來し方、行く末、未亡人の母のこと、未來の妻に對する自分の健康のこと……考へねばならぬことが山程もつもり、身は慎み、健康は保持しようと決心するに至つたのだ

### ラヂオ體操講演

文部大臣　安井英二

〔前六時〕……

今般政府は國民敎化運動方策の一部として國民體位の向上を圖る目的を以て國民總掛りで行ふ國民心身鍛錬運動を計畫いたしました。而して本年度は差當りラヂオ體操の勵行、戸外運動の奬勵、夏季休暇を利用する心身鍛錬の三項目に重點を置き本日より本月二十日までを實施期間と定めました

ラヂオ體操の會が今日の盛大を來しましたのは全く各位の熱心なる御努力に由るものと深く感謝致すところであります、將來、層一層御勵み下され官民一致して本運動の實績を舉げられんことを切望いたします

### 國民歌謠

德山璉

北原白秋 作詞
小田進吾 作曲

山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

保健運動讃歌

いざや起て鍛へよ、高鳴るこの胸、おそれじ寒暑も、行く／＼凛々しく、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

空に見よ萌えたつ、榾のかゞやき、伸びゆくいきほひ、我等も愛へり、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

常に持て光を張りきれ我が胸、力と湧け湧けあふれよよろこび、山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

いざや起て鍛へよ、鋼鐵と我が身を、强かれ明日に、いま眞へ人みな

### ぞなぞなの音

……6,58……

毎日皆様が親しんでいらつしやる「音」をラヂオでお聽かせします、機械の音ではありません、本物の「音」です、それがマイクロフオンを通してどんな風に聽えるか？さアそれがお樂しみ！毎日お聽かせ……

## 結核治療

新注射劑 チオザルコール「萬有」

本劑はグアヤコールスルフオン酸カリを主成分となしサリチール酸、ソーダ、ブロームカルチウム、葡萄糖等を配伍し（皮下用はヴイタミンBを含む）グアヤコール劑の注射による直接作用と配伍薬の解熱、祛痰、鎭咳、食慾亢進等の各作用と相俟て結核、肋、腹膜炎治療上の完璧を期したり。

（名稱紛はしき類似品有り、チオザルコール「萬有」に御注意を乞ふ）

| 靜脈用 | 皮下用 | | |
|---|---|---|---|
| 2.0 c.c. | 1.0 c.c. | 2.0 c.c. | 5.0 c.c. |
| 五管入 | 十管入 | 十管入 | 五管入 |
| 五十管入 | 五十管入 | 五十管入 | 五十管入 |

發賣元 萬有製藥株式會社 東京市日本橋區本町二丁目
出張所 京城府本町三丁目百番地

Banyu



## 蜂ブドー酒

補血强壯・疲勞恢復

食前の一杯 健康の糧

お食事の前に蜂ブドー酒を一二杯お飲み下さい 薬晴しい美味しさ……陶然として心爽やかに 食慾は増進し 消化も著しく促進されます

尚その上葡萄糖・果糖・鐵分等の滋强素を豊富に含有してゐますから 滋養分はよく身につき 健康上非常に効果的です

特にお弱い方々の體力强化食慾増進飲料として 食前一二杯づゝの御愛飲を切におすゝめいたします

香料 化粧品材料 着色料 染料

東華洋行

京城府花園町

養鷄及家畜飼料

澤浦精米所飼料部

本日 マクニンデー

ノミ易ク・ヨク效イテ・害ガナイ

マクニン マイツキ ノムコハ 丈夫

1 幼児よく 副作用中毒作用なし
2 一回の多量服用
3 虫下しと下剤の共に安全
4 下剤の必要なし

株式會社 藤澤友吉商店